

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2006-345554 (P2006-345554A)

【公開日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報 2006-050

【出願番号】特願 2006-195677 (P2006-195677)

【国際特許分類】

**H 0 4 N 5/76 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/91 (2006.01)**

**G 1 1 B 20/10 (2006.01)**

**G 1 1 B 27/00 (2006.01)**

**G 1 1 B 27/10 (2006.01)**

**G 0 6 F 17/30 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N 5/76 A

H 0 4 N 5/91 C

H 0 4 N 5/91 N

H 0 4 N 5/91 Z

G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z

G 1 1 B 27/00 D

G 1 1 B 27/10 A

G 0 6 F 17/30 1 7 0 D

G 0 6 F 17/30 2 2 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 10 日 (2006.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プログラムに含まれる映像信号及び音声信号が複数のセグメントに分割して記録されるとき、各セグメントの音声信号の特徴から重要度レベルが与えられ、前記重要度レベルを当該セグメントに対応付けられたメタデータに記録される記録媒体の映像及び音声再生する再生装置であって、

前記重要度レベルを出力する抽出手段と、

前記重要度レベルとしきい値とを比較する比較手段と、

前記比較手段における比較結果に基づいて、前記重要度レベルが前記しきい値よりも高いセグメントを検索する検索手段と、

前記検索手段により検索されたセグメントに対応する映像および音声を再生する再生手段と

を備え、

前記抽出手段は、

処理対象の前記セグメントの音声信号の特徴に基づいて、前記処理対象のセグメントに第 1 の重要度を与える手段と、

前記処理対象のセグメントを含み時間的に連続する複数のセグメントを選択する手段と

前記選択された複数のセグメントにおける第 1 の重要度に基づいて、前記処理対象のセグメントに第 2 の重要度を与える手段と、

前記第 2 の重要度に対し、前記複数のセグメントに含まれるセグメントの音量に基づいて重み付けされた第 3 の重要度を与える手段とを有し、

前記第 3 の重要度を前記処理対象のセグメントの前記重要度として出力すること  
を特徴とする再生装置。

【請求項 2】

前記第 2 の重要度は、

前記選択された複数のセグメントにおける前記第 1 の重要度の割合に基づいて与えられること  
を特徴とする請求項 1 に記載の再生装置。

【請求項 3】

前記選択された複数のセグメントの期間は、

所定の時間的な長さを有し、

前記処理対象となるセグメントを含むように、時間的に前方向に移動すること  
を特徴とする請求項 1 または 2 に記載の再生装置。

【請求項 4】

前記第 1 の重要度は、複数の音声分類から該当する 1 つの音声分類に分類することにより与えられること  
を特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の再生装置。

【請求項 5】

前記複数の音声分類は、興奮音声と分類される音声分類を含むこと

を特徴とする請求項 4 に記載の再生装置。

【請求項 6】

前記再生される映像は、

前記重要度レベルの変動を示す第 1 の画像と、前記しきい値を示す第 2 の画像とを含んで構成される映像を含むこと

を特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の再生装置。